

## ☆保護者との教育相談メモ（活用のメリット）



保護者との教育相談では、どんな視点で、子どものことについて話を聞き取っていけばよいのでしょうか？

以下のような『教育相談メモ』を活用することで、様々なメリットがあります。『教育相談メモ』は、「本人の好きなこと」「学習・認知面」「生活面」「コミュニケーション・対人関係面」「身体・行動面」「諸検査の結果」「環境面」の7つの観点を設け、子どもの全体像を把握することができるように作成してあります。ぜひ参考にしてみてください。



### 教育相談メモ（一部抜粋）

本人の好きなこと	
学習・認知面	生活面
コミュニケーション・対人関係面	身体・行動面
諸検査の結果	環境面（家族・地域・仲間・学校等）

①ポイントを絞って聴くことができます。

○「生活面」など、特に気になる点について話題を絞って話を聴くことで、子どもが困っていることや支援のポイントが見えてきます。また、事前にポイントを絞ることで何のための相談なのかが明確になります。  
○話し合いのポイントを絞ることで、時間も長くならず保護者の負担も減ります。

②観点別に聴くことができます。

○『教育相談メモ』では7つの観点を設けています。聞き取った内容を観点ごとに記入することで、まだ聞き取っていない内容について把握でき、漏れなく聞き取ることができます。また、観点到無きことについては「その他」の欄に記入できるようになっています。

③総合的に聴くことができます。

○7つの観点を基に記入することで、苦手課題ばかりが話題にならず、子どもの得意なこと、苦手なことの両面を把握することができ、子どもの全体像が見えてきます。それらを基に、どのような支援が必要なのかを、保護者と一緒に考え支援策を出し合っていくことができます。

何が大切な視点なのか、何が支援のポイントなのかが明確になってきます

## ☆保護者との教育相談メモ（様式記入の視点）

学校名・学年		児童生徒名		記入日
相談者名		相談担当者名		月 日 ( )

<b>主 訴</b>	
○相談の主訴を記入します。	
<b>本人の好きなこと</b>	
○本人の好きなこと、興味関心のあることを記入します。	
<b>学習・認知面</b>	<b>生活面</b>
<b>コミュニケーション・対人関係面</b>	<b>身体・行動面</b>
○聴き取ったことを、7つの観点に沿ってメモしていきます。子どもの実態に関する内容を自由にメモしていき、関連性を見つけていくことで子どもの行動の背景要因に気づくことができます。	
<b>諸検査の結果</b>	<b>環境面（家族・地域・仲間・学校等）</b>
<b>その他</b>	
○7つの観点に当てはまらない内容などを記入します。	

<b>子どもの強み（得意とする所）</b>	<b>子どもの弱み（苦手とする所）</b>
○観点ごとに整理した内容をもとに、子どもの強み、弱みを整理して、保護者と共有していきます。	

<b>今後の指導・支援の方向性</b>
○子どもの強み、弱みや7つの観点で整理した内容をもとに、今後の指導・支援の方向性を保護者とともに確認していきます。

◎あくまでも手持ちのメモとして使用し、話し合いの内容を整理するために活用していくものです。